

株式会社フェムマーケティングハウス ソーシャルメディアポリシー ガイドライン

このガイドラインは、株式会社フェムマーケティングハウスの社員や契約社員（アルバイト）、業務委託者など（以下、フェムマーケティングハウス関係者といたします）を対象に、ソーシャル・メディアサービス（以下、ソーシャル・メディアといたします）に関わるための振る舞いや基本マナーについて定めています。

-はじめに

IT や SNS の発達に伴い、一人一人の消費者が社会に向けて自ら直接情報発信を行うことが可能になっています。その中で SNS、Twitter などインターネットをベースに、国境を越えて日々行われている様々な企業活動が議論や対話の対象となっています。

株式会社フェムマーケティングハウス（以下、当社といたします）では、従業員が、ソーシャル・メディアへ自由に参加し、これを積極的に活用することを推奨いたします。

当社の事業とソーシャル・メディアは密接な関係にあります。

従業員がそれぞれのコミュニティに参加して自由に交流し、知識を共有・習得することは、個人の成長のみならず、事業を展開する上でも重要であると考えています。

同時に当社は、社会に対して影響力のあるマーケティングリサーチの業務を通して社会とのつながりを持っており、多くの権利者との関係性も保持していることから、その責任は重大であると認識しています。

これらを踏まえて当社では、従業員のソーシャル・メディア利用における「ソーシャルメディアポリシー・ガイドライン」を制定し、従業員が本ガイドラインに定められた振る舞いやマナーなどの基本原則を遵守して、良識ある行動を取るべく徹底してまいります。

-ガイドライン

・ソーシャル・メディアの参加に当たっては、従業員としての自覚を持ってください。当社の社員を名乗る場合は、自分、同僚、およびクライアント・モニターについて記載した内容が、誤解されないよう細心の注意を払って下さい。

・当社における自分の仕事や、当社に関する話題で、ブログを公開したり、SNS や掲示板を立てたりする際には、次のような免責文を入れて下さい。

「このサイトの掲載内容は私自身の個人的見解であり、株式会社フェムマーケティングハウスの立場や意見を代弁するものではありません。」

法令の遵守

自分以外の第三者が著作権を有する著作物（以下「他人の著作物」といいます）の利用については、著作権法を遵守してください。

他人の著作物の適切な「引用」と認められるためには、以下の要件を満たすことが必要です。また、オリジナルのサイトへリンクを張るなどして、引用元を明らかにするのが一般的です。

1. 既に公表されている著作物であること
2. 「公正な慣行」に合致すること
3. 報道、批評、研究などの引用の目的上「正当な範囲内」であること
4. 引用部分とそれ以外の部分の「主従関係」が明確であること
5. カギ括弧などにより「引用部分」が明確になっていること
6. 引用を行う「必然性」があること
7. 「出所の明示」が必要（複製以外はその慣行があるとき）
8. 著作物の公正な使用（フェアユース）については、日本ではまだ限定的であり、アメリカの著作権法に基づく汎用的な解釈を日本国内で行わないでください

機密保持と守秘義務

当社及び取引先に関する機密情報を公的に発言することを禁止します。

機密情報には、会社の業績予想、事業計画、クライアント情報、モニター情報、リサーチ内容等も含まれます。

会話で知り得た情報や、憶測も発言しないようにしてください。

また、機密情報には該当しない情報や個人的な写真や会話であっても、事前に許可を取るようになしてください。

また、固有名詞を使用せずとも、その状況や場所などから第三者に憶測出来るような内容も、発言してはいけません。

当社は機密情報を守る観点から、SNS 上で第三者からのフィードバックやコメントは受け付けないものとします。

機密情報かどうか、よく分からない場合は、公表を控えて下さい。もしくは公表する前に上

長に確認してください。

メディアリテラシー

当社の従業員がソーシャル・メディアやブログで発言した内容には、個人でその責任を持ちます。

一度インターネット上に公開された内容は、長期間にわたって存在し続けることを認識し、その内容には十分な注意を払ってください。

自分の発言に誤りがあったと認識した場合には、速やかに誤りを認め訂正することが重要です。過去の発言も含めて撤回する場合はその旨も明示しましょう。

但し、インターネットは拡散が速く、一度拡散された関連記事は削除不可能であるということも認識しておいてください。

他社のプライバシーや人権を侵害するような内容などは発言しないこと。

政治・宗教に関する発言をする場合などは、慎重に行ってください。

自分自身の個人情報を公開する際にも注意して、自身のプライバシー保護にも努めて下さい。